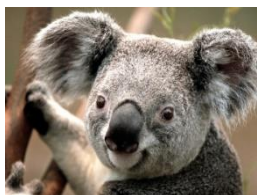


4月のようす

新年度がスタートして1か月が過ぎようとしています。この間、就任式、始業式、入学式、実力診断テスト、全国学力テスト、身体計測、歯科検診と多くの行事が予定されていましたが、落ち着いた様子で終わっています。また、教科係や各種委員会の仕事、現在取り組み中の学級旗づくりや誠之祭学年別競技会では、協力しながら完成や本番に向けて進んでいっています。1ヶ月後には部活動の大会も控えていますので、これまでの活動の成果が出せたり、悔いのないよう努力する先輩の姿を後輩に見せられるようがんばってほしいと思います。



自己表現って…なに？

先日、授業が終わったあとに「自己表現」について質問してきた生徒がいました。せっかくなので全体にあらためてお知らせします。

広島県公立高校入試では、一昨年から「自己表現」を実施しています。自己表現とは、高校の先生(3名)を前にして、5分間で自分をプレゼンする検査です。広島県は「15歳の生徒に付けさせたい力」として、次の3つをあげていて、これらの力を見ることを自己表現の目的としています。

- ・「自己を認識する力」＝自分は何が好きなのか、どういう人間なのかを理解している。【自己理解】
- ・「人生を選択する力」＝自分の将来の夢や目標について、考え、選択し、決める力【意思決定力】
- ・「表現する力」＝自分のことや自分の考えを相手に伝える力。【表現力】

前回の入試では、1日目に自己表現カードを15分間で書き、2日目にそのカードをもとに5分間で検査(プレゼン)を行い、質問の受け答えを3分で行いました。

点数配分は、学力検査：調査書：自己表現＝6：2：2(ただし、特色枠による選抜の比率は別途)となっていますから、仮に入試の満点を1000点とすれば、自己表現は200

点分です。5段階での評価ですから、評価5＝200点、4＝160点、3＝120点、2＝80点、1＝40点ということになりますが、評価2,1はつけないそうなので、200点、160点、120点のいずれかということになります。

では、どんなことをすればよいのでしょうか。県教委の説明では、

- ① これまでにどんなことに興味や関心をもって取り組んできたか。
- ② これまで取り組んできたことを高校でどのように深めていきたいか。
- ③ その他、特にアピールしたいこと

としています。お辞儀の仕方や入室・退室などの態度面を見るのではなく、内容や表現力を見る、とも説明しています。先輩たちはどんな自己表現を行ってきたのでしょうか。ある学校でのアンケートでは、プレゼン内容について次のような回答がありました。

- ・何も使わず、中学校で経験した係や委員会について説明した。
- ・中学校で頑張ったことをもとにして自分の強みについて話した。
- ・自分を変えようと思ってやってみたボランティアのこと、また、高校入学後に部活や勉強で頑張りたいという思いを伝えた。
- ・自分の長所、将来の夢、部活動での経験について話した。
- ・ずっと続けてきた習い事(習字、そろばん、楽器)について。
- ・自分が中学校生活で一番印象に残ったこと(行事)について。
- ・将来の夢について。



道具は、スケッチブック(キーワードやイラストを描いたものをめくりながら)、これまでもらった賞状、タブレット、などを使用した人もありましたが、何も使わなかったという人もいました。先輩たちの中には、受験勉強に集中するため、早めに(夏休み中)自己表現の内容を決めて練習したという人もいました。

自己表現を含んだ公立高校入試の実施方法(要項)は、夏ごろに発表されます。

5月 行事予定

| | |
|----------|-------------|
| 5月 2日(木) | 誠之祭(学年別競技会) |
| 10日(金) | 尿検査(2次) |
| 23日(木) | 参観日・PTA総会 |
| 28日(火) | 伸び調査(3年) |
| 29日(水) | 第1回実力テスト |
| 30日(木) | 3年生、内科検診 |
| 6月 1日(土) | 部活動、春季大会 |
| 2日(日) | 部活動、春季大会 |



比婆山 ギンリュウソウ